

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 日本インシュレーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 5368 URL <https://www.jic-bestork.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）吉井 智彦
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部経営企画部部長（氏名）金子 一郎（TEL）06-6210-1250
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,674	△8.2	389	△46.3	406	△43.7	317	△32.6
2024年3月期中間期	6,179	5.9	725	42.6	722	45.3	471	47.3

（注）包括利益 2025年3月期中間期 232百万円（△59.0%） 2024年3月期中間期 566百万円（64.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	36.74	—
2024年3月期中間期	54.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	17,416	13,182	75.7
2024年3月期	18,116	13,330	73.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 13,182百万円 2024年3月期 13,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,547	0.1	1,186	△18.6	1,138	△22.1	767	△21.3	88.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	8,707,200株	2024年3月期	8,707,200株
2025年3月期中間期	89,163株	2024年3月期	52,436株
2025年3月期中間期	8,644,684株	2024年3月期中間期	8,648,895株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。したがって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性も有しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結累計期間におけるわが国経済において、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、円安を背景にした物価上昇の影響に加え、地政学リスクの長期化や中国経済の先行き懸念、欧米における高い金利水準の継続等による景気の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績につきましては、建築関連では、大型物流施設の耐火被覆工事の受注推進に取り組み、工事部門の売上高は前年同期比で増加しました。販売部門では予定していた大型プロジェクトの進捗が遅れている影響や中小案件が振るわなかったこともあり、販売部門の売上高は前年同期比で減少しました。その結果、建築関連セグメントの売上高は前年同期比でやや減少しました。プラント関連では、工事部門では予定していた工事が堅調に推移したものの、大型工事等が一服し、前年同期比では減少しました。販売部門は建設案件向けの出荷が増えたため、前年同期比で増加したものの、プラント関連セグメントの売上高は前年同期比で減少しました。また利益面では、運送費、人件費の上昇による販管費の増加、プラント関連の工事部門において一部大型工事案件で利益率が低位にとどまったことから、前年同期比で減少しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は5,674,262千円(前年同期比8.2%減)、営業利益は389,155千円(前年同期比46.3%減)、経常利益は406,685千円(前年同期比43.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は317,587千円(前年同期比32.6%減)となりました。

当中間連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<建築関連>

工事部門においては、物流施設、データセンター、工場等の耐火被覆工事が比較的堅調に推移し、工事売上高は前年同期比で増加となりました。一方、販売部門においては、住宅向け耐火被覆材、炭素繊維強化プラスチック(CFRP型材)の販売量が堅調に推移したものの、予定していた非住宅分野の大型プロジェクトの進捗が遅れている影響や中小案件が振るわなかったこともあり、販売売上高は前年同期比で減少しました。販売売上の減少を工事売上の増加で埋めるには至りませんでした。

その結果、建築関連全体の売上高は2,182,778千円(前年同期比2.0%減)、営業利益は352,010千円(前年同期比13.7%減)となりました。

<プラント関連>

工事部門においては、鉄鋼、化学等のメンテナンス工事関係が堅調に推移し、さらに下期に向けて受注物件の消化が進むものと見込まれますが、上期においては、大型工事等が一服し、工事売上高としては前年同期比で減少しました。販売部門においては、建設案件向け出荷が増えたため、販売売上高は前年同期比で増加しましたが、工事売上の減少を販売売上の増加でカバーするには至りませんでした。

その結果、プラント関連全体の売上高は3,491,484千円(前年同期比11.6%減)、営業利益は536,911千円(前年同期比31.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて700,084千円減少し、17,416,730千円となりました。

(流動資産)

流動資産については、前連結会計年度末に比べて631,012千円減少し、11,247,804千円となりました。これは主に、電子記録債権が288,399千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が144,072千円、完成工事未収入金が815,106千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産については、前連結会計年度末に比べて69,072千円減少し、6,168,925千円となりました。これは主に、無形固定資産が77,943千円増加したものの、その他(投資その他の資産)が143,556千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債については、前連結会計年度末に比べて513,199千円減少し、2,993,624千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が171,128千円、工事未払金が141,515千円、未払法人税等が220,331千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債については、前連結会計年度末に比べて38,101千円減少し、1,241,074千円となりました。これは主に資産除去債務が24,942千円増加したものの、長期借入金が38,750千円、役員退職慰労引当金が25,376千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて148,782千円減少し、13,182,031千円となりました。これは主に、利益剰余金が28,603千円、その他有価証券評価差額金が87,333千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して2,805千円増加し、4,649,564千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、420,070千円(前年同期は759,721千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益471,348千円、売上債権及び契約資産の減少671,248千円により資金が増加した一方で、仕入債務の減少312,685千円、法人税等の支払額349,050千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、18,277千円(前年同期は166,612千円の支出)となりました。これは主に投資有価証券売却による収入121,971千円により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出87,458千円、無形固定資産の取得による支出12,699千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、442,730千円(前年同期は339,342千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出98,540千円、配当金の支払額346,190千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想につきまして、建築関連で大型工事物件の工期のずれ等が影響し、販売部門及び工事部門ともに売上高で予想より下振れました。プラント関連で販売部門は予想よりも下振れたものの、工事が予想よりも上振れたため、予想水準の売上高となりました。また利益面では、運送費、人件費の上昇による販管費の増加、プラント関連の工事部門において一部大型工事案件で利益率が低位にとどまったことから、上期売上高予想5,878百万円に対して、5,674百万円(達成率96%)、営業利益予想556百万円に対して実績389百万円(同70%)となりました。

一方、通期の連結業績予想につきましては、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクがあり、国内市場に対しては物価上昇、金融資本市場の変動等の影響が懸念されますが、下期に大型工事等完工の見通しもあり、2024年5月13日に公表いたしました予想数値からの変更は行っておりません。

今後、さらに経済及び事業環境が大きく変化する等の事態が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,762,760	5,768,567
受取手形、売掛金及び契約資産	2,057,822	1,913,750
電子記録債権	902,416	1,190,815
完成工事未収入金	1,986,917	1,171,810
商品及び製品	622,957	621,007
仕掛品	376,441	400,359
原材料及び貯蔵品	135,613	120,239
その他	33,887	61,255
流動資産合計	11,878,817	11,247,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,307,313	1,297,282
機械装置及び運搬具(純額)	1,133,570	1,095,529
土地	2,721,445	2,721,445
建設仮勘定	13,413	60,859
その他(純額)	72,209	69,375
有形固定資産合計	5,247,951	5,244,492
無形固定資産	50,525	128,469
投資その他の資産		
その他	991,383	847,827
貸倒引当金	△51,863	△51,863
投資その他の資産合計	939,520	795,963
固定資産合計	6,237,997	6,168,925
資産合計	18,116,814	17,416,730

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,045,261	874,132
工事未払金	544,547	403,032
契約負債	290,152	323,421
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	389,640	343,600
未払法人税等	375,955	155,623
賞与引当金	335,323	303,257
完成工事補償引当金	2,800	2,623
工事損失引当金	5,894	11,551
設備関係支払手形	55,807	42,511
その他	411,440	433,870
流動負債合計	3,506,824	2,993,624
固定負債		
長期借入金	528,750	490,000
役員退職慰労引当金	182,795	157,419
健康被害補償引当金	117,783	117,783
資産除去債務	-	24,942
その他	449,848	450,929
固定負債合計	1,279,176	1,241,074
負債合計	4,786,000	4,234,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,247	1,200,247
資本剰余金	943,547	946,696
利益剰余金	10,169,137	10,140,534
自己株式	△38,470	△76,548
株主資本合計	12,274,462	12,210,930
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	789,081	789,081
その他有価証券評価差額金	304,812	217,479
為替換算調整勘定	△37,543	△35,460
その他の包括利益累計額合計	1,056,351	971,100
純資産合計	13,330,814	13,182,031
負債純資産合計	18,116,814	17,416,730

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,179,214	5,674,262
売上原価	4,419,951	4,152,258
売上総利益	1,759,263	1,522,004
販売費及び一般管理費	1,033,970	1,132,848
営業利益	725,293	389,155
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,573	11,854
為替差益	15,158	5,694
賃貸収入	9,978	9,580
その他	4,377	3,453
営業外収益合計	39,088	30,583
営業外費用		
健康被害補償引当金繰入額	35,583	-
支払利息	2,578	3,290
賃貸費用	2,134	1,834
固定資産除却損	0	4,478
その他	1,327	3,450
営業外費用合計	41,624	13,054
経常利益	722,757	406,685
特別利益		
投資有価証券売却益	-	81,150
特別利益合計	-	81,150
特別損失		
減損損失	21,947	16,487
特別損失合計	21,947	16,487
税金等調整前中間純利益	700,810	471,348
法人税、住民税及び事業税	260,180	135,096
法人税等調整額	△30,490	18,664
法人税等合計	229,689	153,760
中間純利益	471,120	317,587
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	471,120	317,587

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	471,120	317,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90,190	△87,333
為替換算調整勘定	5,469	2,082
その他の包括利益合計	95,659	△85,250
中間包括利益	566,780	232,336
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	566,780	232,336
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	700,810	471,348
減価償却費	150,524	144,434
減損損失	21,947	16,487
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	49	△177
工事損失引当金の増減額(△は減少)	236	5,656
賞与引当金の増減額(△は減少)	92,204	△32,212
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,746	△25,376
健康被害補償引当金の増減額(△は減少)	11,283	-
受取利息及び受取配当金	△9,573	△11,854
支払利息	2,578	3,290
為替差損益(△は益)	△15,158	△7,187
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△81,150
有形固定資産除却損	0	4,478
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△249,137	671,248
棚卸資産の増減額(△は増加)	△71,782	274
仕入債務の増減額(△は減少)	△103,319	△312,685
契約負債の増減額(△は減少)	92,032	33,268
その他	160,108	△119,521
小計	776,057	760,322
利息及び配当金の受取額	9,572	11,827
利息の支払額	△2,481	△3,028
法人税等の支払額	△23,426	△349,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	759,721	420,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△77,004	△15,131
定期預金の払戻による収入	12,000	12,130
有形固定資産の取得による支出	△91,540	△87,458
無形固定資産の取得による支出	△320	△12,699
投資有価証券の取得による支出	△6,226	△6,473
投資有価証券の売却による収入	-	121,971
投資不動産の賃貸による収入	9,978	9,580
投資不動産の賃借による支出	△1,454	△1,451
その他	△12,045	△2,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,612	18,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△69,615	△98,540
自己株式の取得による支出	-	△48,000
配当金の支払額	△319,727	△346,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,342	△442,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,836	7,187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	246,930	2,805
現金及び現金同等物の期首残高	3,451,810	4,646,758
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,698,740	4,649,564

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,227,620	3,951,594	6,179,214	—	6,179,214
計	2,227,620	3,951,594	6,179,214	—	6,179,214
セグメント利益	407,778	782,789	1,190,568	△465,275	725,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△465,275千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当中間連結会計期間に21,947千円の減損損失を計上しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,182,778	3,491,484	5,674,262	—	5,674,262
計	2,182,778	3,491,484	5,674,262	—	5,674,262
セグメント利益	352,010	536,911	888,922	△499,766	389,155

(注) 1. セグメント利益の調整額△499,766千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当中間連結会計期間に16,487千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。